

マーケットの動き（2026年6月22日～6月26日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は、前週末の中東情勢の緊迫化を受けて原油先物価格の動向を巡る不透明感が高まり、インフレ圧力が続くとの見方が広がったことで、軟調に推移しました。その後は、原油先物価格の下落や地政学リスクに対する過度な警戒感の後退を背景にインフレ懸念が和らぎ、債券は買いが優勢となりました。クレジット市場は、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2026年6月）

国内長期金利にはさらなる上昇余地

日銀が公表した4月金融政策決定会合で出された主な意見によると、中東情勢の先行きが不透明感な状況が続いたとしても、景気減速の明らかな兆候がない限り、「早期に利上げに進むべき」との意見が相次いだことが明らかになりました。国内長期金利は、依然として日銀の政策が後手に回るとの懸念が残る中、政府による財政拡張政策もあり、さらなる上昇余地があるとみています。

	6月26日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	2.60	▲0.04	▲0.12	0.56	1.20
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	328.39	0.34%	0.94%	▲2.42%	▲5.91%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

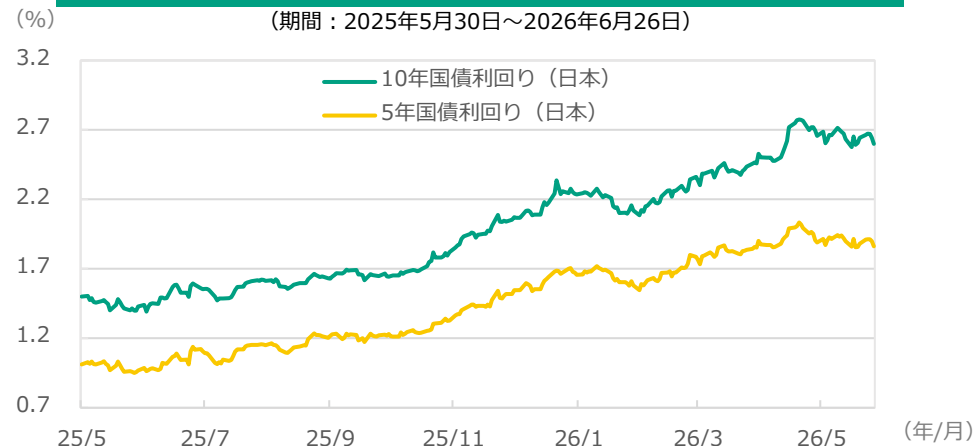
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202606_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

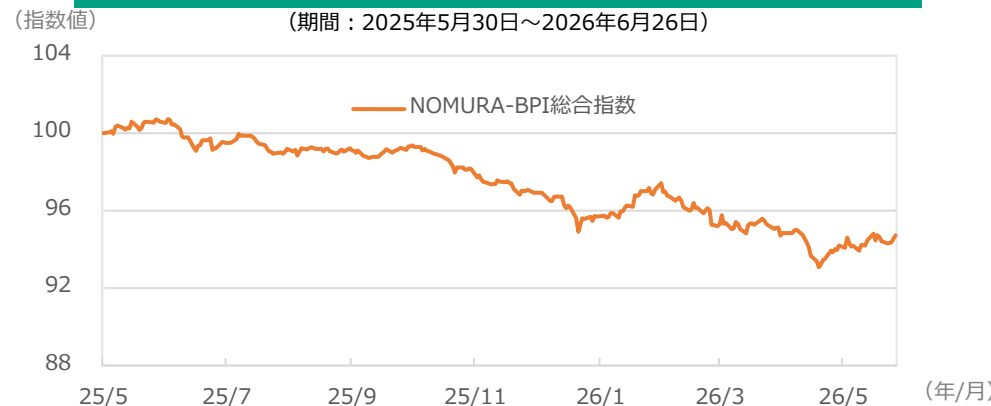
日本国債利回りの推移

（期間：2025年5月30日～2026年6月26日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2025年5月30日～2026年6月26日）



※2025年5月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成